

# さわらび

2020. 7. 28 No. 16 文責：大塚

## ■今回の集会は……。

7/20(月)。ゲストを招いての集会の第2回目を行いました。今回のゲストとして来ていただいたのは、蕨岡小学校の石川校長先生と用務員の横原さんです。内容も発表の仕方もレベルアップして



きた今回ですが、ゲストの石川校長先生から伝えていただいた感想に、今日の集会の良さが詰まっていた。

お招きいただき、ありがとうございます。中学校3年生3名のことは、小学校でもいつも話しています。一緒に活動しているときの、礼儀正しいこと、あいさつ、手を抜かない取組など、小学生の見本になっています。

中学生は集会で発表内容を覚えて発表するんですね。すごいなあと思いました。はるかのひまわりのこと……2019年度に小学校にいただいた分は咲かすことができなかったので、今年は咲かそうと、横原さんを中心に育ててきてやっと咲きそうになりました。植物も何もかも、世話をしないと命は育たないのです。あなたたちのおかげで、はるかのひまわりの思いを込めた取組が、蕨岡地区に広がっています。これから受験や高校生活が待っています。頑張ってください。

そして、続いて感想を述べてくれたのが、小学校の用務員をされている横原さん。3人が小学校4年生のときから見ていたということで、「母のような気持ちで見えていました。背も高くなって、発表もしっかりできて、うれしくなりました」とのこと。わたけノビノビ会の委員の皆さんや中学校の取組に関わってくれている皆さんは、きっと、こういう気持ちで子どもたちの成長を見続けてくれているのだと改めて感じました。ありがとうございました。



## ■そして続いて、小学校の生活朝会へ。



上記の集会の後、「小学生に、はるかのひまわりのことを伝えてほしい」と、ありがたいお誘いを受けました。

さっそく、7/27(月)の蕨岡小学校の生活朝会に参加してきました。

新型コロナウイルス感染防止のため、間隔を空けて体育館に整然と並んでの朝会。児童会などからの目標の反省の後に、中学生の時間をいただきました。

虎次君から、阪神淡路大震災とはるかのひまわりのこと。航聖君から、自分たちが育ててきて大変だったことなどの体験談。佑希君から、絵本「あの日をわすれない はるかのひまわり」の紹介でした。声の大きさ、話すスピード等々、とても取組の意識の高い発表になったと思います。

## ■あちこちでも、咲いています。

今年度は、蕨岡中の花だんには約100本が咲きました。また、蕨岡小や蕨岡保育所をはじめとして、あちこちにも配布させていただきました。郵便局でも地域の人に配っていただき、あれこれ合わせると配布したのも、約100本くらいではないかと思っています。



※四万十の郷の玄関横でも咲いています。



※蕨岡郵便局でもプランターで咲かせてもらいました。

蕨岡小での生活朝会の発表の最後。「ぼくたち蕨岡中は、今年度で終わりになるので、来年から小学校ではるかのひまわりを育ててもらえたら……」との思いを伝えて、中学校に帰ってきました。

帰校後は、部活動の練習前に学校前で回収しているアルミ缶の袋詰め……。他校よりは少し早く夏休みに入りました(その分土曜授業を実施)が、少人数ゆえに、あれもこれもと忙しい毎日です。これも蕨岡中学校でしか体験できないこととして、頑張ってください。

## ■「蕨岡マップ」も少しずつ進んでいます。

1学期末に、四万十市観光協会の方に来ていただいて、観光マップとしての観点から、いろいろアドバイスいただきました。

夏休み中に少しずつ進めようとして取り組んでいます。現在は、表面の清書中です。3人の「50年後に残したい蕨岡の風景」は、それぞれの視点で選んだ場所で、それぞれの思いが伝わってきます。

今後、作成を続けて、9月中には裏面も完成する予定です。

10/10(土)の参観日で、蕨岡マップについての報告会を予定しています。保護者の皆様、地域の皆様の参加をお待ちしております。

